いみず 市議会だより

Imizu City Congress News

No.72

令和５年11月１日発行

●発行／射水市議会　●編集／広報委員会
〒939-0294 富山県射水市新開発410番地１
TEL(0766)51-6610　FAX(0766)51-6645
E-mail gikai@city.imizu.lg.jp

▲和田 美佐さん撮影「貨物船大橋くぐる」
（撮影場所：海王丸パーク）

表紙写真のご応募ありがとうございました！

市議会のうごき

8月

- 4日　議会運営委員会、議会報告会（民生病院常任委員会）
- 9日～10日　港湾振興特別委員会行政視察
- 21日～22日　港湾振興特別委員会行政視察
- 23日　議会改革特別委員会専門部会
- 28日　議会運営委員会、全員協議会
- 30日　議会改革特別委員会専門部会

9月

【定例会】

- 4日　議会運営委員会、本会議、全員協議会
- 8日　本会議（代表質問）、議会運営委員会、広報委員会
- 11日　本会議（一般質問）
- 12日　本会議（一般質問）、予算特別委員会
- 13日　総務文教常任委員会
- 14日　民生病院常任委員会
- 15日　産業建設常任委員会
- 19日　議会改革特別委員会
- 21日　予算特別委員会
- 22日　予算特別委員会、議会運営委員会
- 25日　本会議、議会運営委員会
- 28日　議員懇談会

10月

- 16日　決算特別委員会（一般会計）
- 17日　決算特別委員会（特別会計）
- 18日　決算特別委員会（病院・水道・下水道事業会計）
- 19日　広報委員会
- 20日　決算特別委員会（全会計）

代表質問

【自民射水の会】
堀　義治 議員

1. 射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性について
2. 本市の移住・空き家施策について
3. 市制20周年記念事業について

問①▶ 今定例会で第２期総合戦略の部分改訂が示されているが、今後検討することとなる第３期総合戦略の方向性について、現時点でどのように考えているのか伺う。

答①▶ 第３期総合戦略では、市民があらゆるライフステージで幸せを実感できる社会づくりのために「デジタル技術」を上手く活用する、という観点をこれまで以上に意識する必要があると考えている。一方で、これまで取り組んできた子育て支援や移住・定住への支援、雇用環境の整備などの各種施策についても、蓄積してきた成果や知見に基づき必要な見直しを行いながら、総合戦略の目的である「人口減少の克服」と「地域の活性化」につなげていきたい。

問②ⅰ▶ 移住による人口減少の抑制は喫緊の課題であり、移住促進施策について、先進自治体の事例を研究し、実効性の高い取組を展開すべきと考えるが、見解を伺う。

答②ⅰ▶ 移住・空き家に関するサービスをワンストップで提供する窓口を、民間事業者と連携して開設している自治体が、県内でも増えてきている。こうした状況を踏まえ、本市の実情に合った窓口の在り方について更に検討を進めるため、「（仮称）移住・空き家トータルサポート業務」の実施に向けたサウンディング型市場調査※を実施し、様々な民間事業者との対話の中で、民間ならではのアイデアについても提案を受けたいと考えている。

問②ⅱ▶ 内川周辺エリアでは、ここ10年ほどで17軒の空き家が店舗や事務所などに利活用されており、今後、こうした空き家利活用の流れを更に促進していく施策展開が必要と考えるが、見解を伺う。

答②ⅱ▶ 内川周辺の価値であるオンリーワンの景観を維持していくため、様々な民間事業者と行政が共通認識を持って、空き家利活用に取り組むことが重要と考えている。今後、空き家の利活用を所管する観光・定住課の事務所を新湊地区へ移転させるとともに、明確なビジョンのもと、小規模なエリアごとに賑わいを生み出していく「リノベーションまちづくり」と呼ばれる手法をはじめ、全国の先行事例を参考にしながら、内川周辺の価値向上に集中的に取り組んでいく。

問③▶ 令和７年度に迎える市制20周年の節目においては、これまでの歩みを振り返り、市民とともに祝う機運の醸成が必要と考えるが、記念事業の実施に向けた検討状況について伺う。

答③▶ この記念すべき節目の年に向け、今年度から庁内において検討を開始したところである。全ての部局から提案を募るとともに、次長級の職員で構成するワーキンググループを組織し、どのような取組が考えられるか、部局横断的にアイデアを掘り起こしながら協議しており、本市の一層の飛躍につながるよう取り組んでいく。

その他の質問

- 地域共生社会の実現に向けた本市の取組について
- 第２期射水市教育振興基本計画の策定について
- 定員適正化計画の考え方について
- 7月12日の大雨について
- 本市のカーボンニュートラル実現に向けた取組について
- 市内中小企業が抱える経営課題について

※の用語については、最終ページに解説があります。

代表質問

【自民議員会】
寺岡　伸清 議員

1 こども家庭庁について

2 コミュニティ・スクールについて

問①▶ 今年度、国においてこども家庭庁が発足した。この組織については、我が国の危機的な少子化対策及び子育て支援を重要施策として対応するため、新たに設置されたものと考えており、大きな期待をしているところである。射水市は、このことの重要性に鑑み、先進的に取り組んできた自治体であると認識している。市長は、この経験と実績を踏まえて、国に対して積極的に要望活動に取り組んでいくべきと考えるが、所見を伺う。

答①▶ 新たに設置されたこども家庭庁には、子ども施策を総合的かつ強力に推進していくためのリーダーシップを期待している。子育て施策において、これまでの各種助成競争によって生じた自治体間の格差については、好ましいことではないと認識しており、昨年9月30日に、全国青年市長会長として岸田首相に対し「少子化対策を国家の最重要課題に」と直接提言してきたところであるが、全国一律に高い水準で統一されるよう国・県に対して要望していく。さらには、今回、国の趣旨に賛同し、「射水市こどもまんなかサポーター宣言」も行ったところであり、今後も引き続き、国・県に対して各種子育て施策に対する支援を求める要望を行っていく。

問②▶ 改めて、今なぜコミュニティ・スクールの導入が必要なのか、教育長の考えを問う。

答②▶ 子どもたちに「生きる力」を育てるには、学校と地域、保護者が連携を強化し、社会総がかりで教育を実践していくことがより効果的であり、大切であると考えている。近年、子どもたちを取り巻く環境や学校が直面している課題は、複雑かつ多様化していることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校と地域とのつながりにも、これまでより距離が生じてきている現状がある。このような現状認識の中、どのような子どもを育てるのか、また、どのような教育活動を実現していくのかというビジョンや目標について、学校運営協議会を通して地域や保護者と共有し、今まで以上に地域と保護者、学校が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を目指し、全小・中学校を対象として、コミュニティ・スクールの導入に向けて準備を進めているところである。

その他の質問

- 放課後児童クラブについて
- 消防団員について
- 人材育成方針について
- 富山県立大学との連携の強化について
- 文教ゾーンの魅力向上について
- 文化振興対策について
- 都市間交流の再検討について

一般質問

1 ＡＩオンデマンドバスについて

2 農林水産業者への支援事業について

3 今後の観光事業計画について

金　賢志 議員

問①▶ ＡＩオンデマンドバス※について伺う。

答①▶ ＡＩオンデマンドバス「のるーと射水」の乗降場所は、コミュニティバスのバス停と同じとし、乗車には事前予約が必要である。今後、実証運行において、利用者アンケート等で意見を伺い、利用状況等を検証したうえで、エリア拡大を検討していく。

問②▶ 農林水産業者への支援事業について伺う。

答②▶ 猛暑による農作物への影響が懸念される中、肥料・燃料価格高騰の影響を含め、収入の減少により農林水産業者の経営継続意欲が減退しないよう、支援について検討していく。

問③▶ 今後の観光事業計画について伺う。

答③▶ 「日本のベニス「内川」を世界へ」をテーマに、新湊観光船のナイトクルーズのモニターツアーを実施するほか、ナイトクルーズと獅子舞、食事を組み合わせた旅行商品の造成にも取り組み、本市観光の課題である夜の観光コンテンツの充実に向け、観光協会が主体となって取り組んでいくこととしているなど、北陸新幹線の敦賀延伸による効果を本市の観光の活性化につなげることができるよう、引き続き、各種取組を進めていく。

一般質問

1 市役所男性職員の育児に伴う休暇・休業について

山本　満夫 議員

問①▶ 育児休業等を取得しやすい環境の整備等について、職員の円滑な職場復帰支援や代替職員の確保など、男性職員が安心して休める環境を整える必要があると思料するが、当局の見解を伺う。

答①▶ 育児休業等を取得しやすい環境の整備等については、女性職員だけではなく、男性職員も安心して休める環境を整える必要があり、職員の円滑な職場復帰の支援などは、全庁的な取組が望ましいと考える。また、新たな定員適正化計画の策定に当たっては、職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、子育てしやすい職場づくりに取り組むなど、働きやすい職場環境の構築を進めていくこととしている。今後、長期の育児休業の取得を希望する職員がいる場合は、職場内の業務分担の見直しを行いつつ、必要に応じて会計年度任用職員等の確保にも努めるなど、育児休業取得を促進していく。

その他の質問

- 射水市のDXプロジェクトの進捗について

一般質問

1 和田川ダムの緊急放流の影響把握について

2 和田川周辺以外での災害対応について

高橋　久和 議員

問①▶ 和田川ダムの緊急放流※の影響把握について伺う。

答①▶ 和田川沿いに設置してある水門の操作等は、ダムの緊急放流を行うという情報が来た段階で判断するのが現実的であるため、県に対して、今回の結果を検証した上で、より詳細な情報が提供されるよう求めていく。

また、今回の経験を今後に生かすためにも、関係機関との情報の共有や住民への周知のあり方について検証し、改善すべき点は改善していただきたいと考えている。

問②▶ 農地に関する被災者の負担軽減について伺う。

答②▶ 通常の農地や農業用施設整備の地元分担金は、事業費の50%以内としているが、災害復旧にかかる負担割合については、その事情を考慮し、復旧費用にかかる地元分担金を事業費の5%以内とすることを条例で定めて負担軽減を図っており、これに基づき復旧工事を進めたい。

その他の質問

- 和田川の治水における「十一ケ堰水門」の重要性の認識について
- 和田川における水害対策について
- 今回の大雨災害が庄川右岸用排水対策整備事業に与える影響について

一般質問

1 小・中学生の通学時の荷物について

2 校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）の設置について

3 給水スポットの設置によるペットボトル削減について

杉浦　実 議員

問①▶ 現状を踏まえ、通学時の荷物の軽量化に向けた対策について伺う。

答①▶ 持ち帰る教科書や教材を自ら適切に判断できるようにしたり、同じ日に多くの学習用具を用いる場合には、あらかじめ数日に分けて持ってくるよう指導したりするなど、携行品の分量が特定の日に偏らないように配慮することについて、校長会等を通して共通理解を図っていく。

問②▶ 校内教育支援センター※の設置について伺う。

答②▶ 校内教育支援センターには、学校内で心を落ち着かせる居場所となることなどの有効性があることは認識しているが、人的、物的整備が課題であり、今後も、来年度予算の概算要求など、国の動向を注視していく。

問③▶ 公共施設への給水スポット設置により、熱中症対策やペットボトル削減につながると考えるが、見解を伺う。

答③▶ 給水スポットの設置は、熱中症対策はもとより、プラスチックごみや二酸化炭素排出量の削減といった地球温暖化対策の取組としても有効であることから、関係部局と連携を図り、先行団体の設置状況や効果等について調査、研究していく。

一般質問

1 富山新港における釣り文化振興について

西尾　哲 議員

問①▶ 国では、地方創生を目的とした観光等の取組を進めており、先般視察してきた北陸地方整備局にて、港湾施設内の防波堤など、安全対策を実施できる場所において、一定のルールの下、関係機関と連携して釣り禁止区域を解除された港湾事例等を聞いた。富山新港内においても、安全対策を充実しながら釣り場を増やすことで、釣り文化の振興及び観光振興が図られると考えるが、当局の見解を伺う。

答①▶ 釣り場の増設は、賑わいや関係人口の創出に一定の効果があると考えている。先日、常時魚釣りが禁止されている海王丸パーク内にて、1日限定イベント「親子deフィッシング」を開催したところ、参加者から好評であった。富山新港における釣り場の新たな増設について、今後、調査・研究するとともに、港湾管理者である富山県と協議していく。

その他の質問
- 空き家利活用の促進について
- 生活困窮者支援について
- 友好都市台湾台北市士林区との今後の交流の展望について

一般質問

1 小学校のプールについて

2 観光分野での関西方面へのアプローチについて

3 SATOYAMAの魅力について

大垣　友和 議員

問①ⅰ▶ 夏休み中の学校プールの使用頻度について伺う。

答①ⅰ▶ ４年ぶりに学校プール開放を実施し、各校それぞれ1日から4日の開放で、延べ２千人超の利用があった。

問①ⅱ▶ プールの開放基準について伺う。

答①ⅱ▶ 体育の授業で行う水泳指導においては、暑さ指数をこまめに計測し、環境省のガイドラインに従うことを基準とする。

問②▶ 北陸新幹線延伸に伴う今後の展望について伺う。

答②▶ ＪＲや主要旅行会社等と連携し、本市の魅力を広くＰＲするとともに、外国人旅行者等に対してダイレクトに情報発信できる手法も検討するなど、観光客のより一層の誘客につなげていく。

問③ⅰ▶ カーボンニュートラルの実現に向けた里山の保全について伺う。

答③ⅰ▶ 森林整備や人材育成、木材の利用等の取組を通じて、里山の環境保全につなげていく。

問③ⅱ▶ 里山の景観や文化の保全と観光資源の磨き上げ、教育・体験活動について伺う。

答③ⅱ▶ 里山の観光資源としての可能性を追求するとともに、金山里山の会など里山で活動している団体と連携を深め、里山を教育や体験フィールドとして活用できるよう、調査研究していく。

その他の質問
- 出会い応援事業について

一般質問

1 特別職報酬等審議会について
2 非正規雇用者への最低賃金の適用について
3 射水市の顧問弁護士について
4 射水市協働のまちづくり基本指針と地域振興会の関係について
5 公職選挙法に基づく「政治活動用事務所」に係る立札及び看板の類の表示について
6 市の特別職と部長の出退表示盤の設置について

呉松　福一 議員

問①▶ 特別職報酬等審議会を開催し、議員報酬や特別職の給料などについて意見を聞くべきと考えるが、見解を伺う。

答①▶ 今年度中に審議会を開催する予定はあるが、議員報酬等について諮問することは考えていない。

問②▶ 富山県の最低賃金が改定されるが、本市の非正規職員への適用について伺う。

答②▶ 富山県の最低賃金を参考に、他市や類似団体の状況も踏まえ、適正に対処していく。

問③▶ 本市の顧問弁護士事務所には市在住の方が勤務しており、無料法律相談などにおける個人情報の取扱いが心配であるとの市民の声を聞くが、見解を伺う。

答③▶ 弁護士事務所に勤務されている方には守秘義務が課されており、問題はないと考える。

問④▶ 「協働のまちづくり基本指針」に基づき、地域振興会と行政による市民協働の姿はどうあるべきか、見解を伺う。

答④▶ 本指針の地域振興会の役割について、様々な機会を捉え周知することで、効果的なまちづくり事業を推進していく。

問⑤▶ 政治活動用事務所の看板に関し、公職選挙法に照らした規格に係る通知を一方的に発出するのではなく、議員懇談会などで説明すべきと考えるが、見解を伺う。

答⑤▶ 説明の手法も検討しながら、引き続き、機会を捉えて周知に努めていく。

問⑥▶ 市の特別職及び幹部職員の出退表示盤の設置について伺う。

答⑥▶ これまでも十分に検討の上、その必要性は低いと判断しており、設置の予定はない。

一般質問

1 7月12、13日の大雨による被害の対応について

不後　昇 議員

問①ⅰ▶ 7月の大雨による被害の原因にもなっている、和田川に設置してある9か所の水門の遠隔操作化について伺う。

答①ⅰ▶ 水門の操作については、降雨状況、河川の水位状況、安全確保等を総合的に判断して操作する必要があり、判断を適切かつ迅速に行うため、まずは、監視カメラを設置するものである。なお、和田川に設置してある水門の操作は全て手動であるため、安全で迅速な操作が可能となる遠隔化は効果的な手段であると考えており、その必要性や優先順位を判断するため、調査していく。

問①ⅱ▶ 内水ハザードマップの作成について伺う。

答①ⅱ▶ 今年度から、想定最大規模降雨の1000年に1回程度の大雨に対する内水浸水想定区域図の作成に取り組み、避難情報などを記載した内水ハザードマップを令和7年度までに作成する予定である。

その他の質問

- ●ゼロカーボンシティ宣言に伴う地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定について
- ●増加する単身の高齢者の終活支援について
- ●本市におけるフリーランスへの将来的な支援について

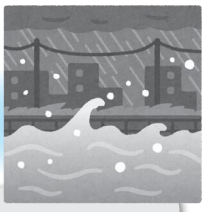
一般質問

1 7月12日夜中から13日早朝における豪雨による水害について

根木　武良 議員

問①▶ 先般の豪雨により、和田川沿いにある4か所の地区（二口南、幸町、緑ヶ丘、庄和町）において、今までにない浸水被害が発生したが、その原因と対策について伺う。特に、河川からの逆流を防ぐため、水門操作の自動化が必要と考えるが、当局の見解を伺う。

答①▶ 浸水被害の原因については、局地的な集中豪雨に加えて、和田川ダムにおいて緊急放流※が実施されたことで、かつてない早さで和田川の水位が急激に上昇したことにより、宅地側の雨水が排水しきれなかったことや、河川からの逆流もあったものと考えられる。和田川に設置してある水門は、堤防から河川側に張り出した形で設置されており、増水した河川上では、水門操作の安全確保が必要であることから、水門を安全かつ迅速に操作することを可能とする電動化や遠隔化などの対策は、有効な手段であると考えている。



その他の質問

- ●岐阜県庄川支流の六厩（むまや）川流域の産業廃棄物埋立処分場建設計画について
- ●マイナンバーカードについて
- ●小・中学校の給食費等の集金について

一般質問

1 射水市地域型市民協働事業交付金について

2 市内児童館・遊ぼ～館について

3 新規政策提案について

西元　勇司 議員

問①▶ 地域振興会によって人口や自治会加入世帯数が増減しており、地域型市民協働事業交付金の世帯数に応じた加算額の区分を500世帯ごとに細分化する見直しが必要と考えるが、当局の見解と対案を伺う。

答①▶ 地域振興会連合会の理事会や各コミュニティセンターを訪問した際など、地域課題に対して様々な意見を伺っており、加算額の区分の見直しについても、併せて検討していく。

問②▶ 各施設に子どもに優しい冷暖房設備の設置を求めるところであるが、屋内遊具設置の体育館や遊戯室の熱中症・防寒対策について伺う。

答②▶ 冷房設備のない児童館においては、状況に鑑みて、時間を区切るなどの工夫を凝らした利用や定期的な水分補給を促し、遊ぼ～館においては、通気をよくすることで、館内の温度が上がらないよう、それぞれ熱中症対策を講じている。なお、遊ぼ～館では、防寒対策は特に行っていない。

問③▶ 観光客や災害時に資するコンテナホテル※を誘致すべきと考えるが、見解を伺う。

答③▶ コンテナホテルは、レスキューホテル※としての役割も持ち合わせており、引き続き、機会を捉えて企業側と情報交換を行っていく。

一般質問

1 災害時におけるコミュニティ放送の活用について

2 射水市民病院の地域包括ケア病棟への介護福祉士配置について

石田　勝志 議員

問①▶ 災害時におけるコミュニティ放送の活用状況と課題について伺う。

答①▶ ラジオは、停電時にも利用できる有効なツールであり、現在も情報伝達手段として活用しているところであるが、より効果的な活用に向け、「大雨や地震などの有事の際には、まずラジオをつけエフエムいみずを聞く」という習慣の定着が重要であると考えている。出前講座や防災訓練等の機会をとらえ、周知に努める。

問②▶ 射水市民病院の地域包括ケア病棟への介護福祉士配置について、見解を伺う。

答②▶ より一層高齢化が進行し、介護が必要な入院患者の割合が増加すると見込まれる中、専門知識のある介護専門職の配置は、看護師の負担軽減はもとより、患者の在宅復帰に向け大変有効であると考えている。今後、診療報酬改定において介護専門職の配置が位置付けられることとなれば、積極的に配置を検討したい。

その他の質問

●今後の子育て支援策について

令和５年度議会報告会

今回の議会報告会は、各常任委員会に分かれて開催し、それぞれの所管事項について、参加者と意見交換をしました。

民生病院常任委員会

令和5年8月4日13時30分から大門高校において議会報告会を行いました。「社会問題や身近な問題について」をテーマとし、大門高校の2年生21名と意見交換をしました。

▼主な意見

●中学校部活動の地域移行について、平日と休日で指導者が異なると、指導方針がずれるのではないか心配だ。

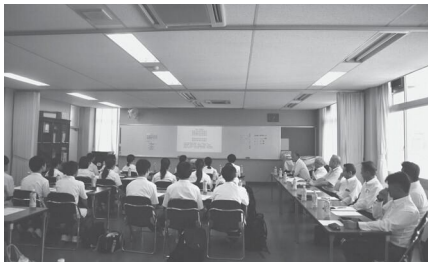
●大門駅まで街灯がほしい。

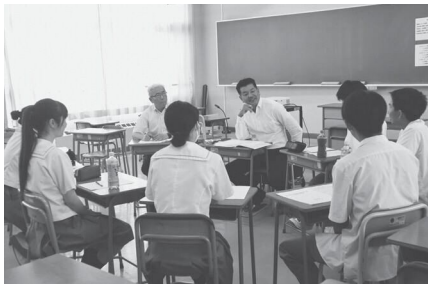
●通学路を除雪してほしい。路面凍結を解決してほしい。

●登下校時のコミュニティバスの便数を増やしてほしい。（部活動後の19時台にもバスを利用したい。大門地区から冬期のみでなく、通年利用したい。）

●バス料金の支払い方法を増やしてほしい。

●デマンドバス・タクシーを射水市全体に広げてほしい。





9月定例会常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案の審議内容や所管事務の報告事項に関する概要を紹介します。

総務文教常任委員会

議案2件及び報告1件を可決(承認)すべきものとしました。
所管事務について8件の報告を受けました。

専決処分の承認を求めることについて

(令和5年専決処分第10号 令和5年度射水市一般会計補正予算(第3号)) (報告第11号)

7月に発生した大雨に係る災害復旧に要する経費に関し、歳入歳出にそれぞれ2億8千万円を追加する補正予算を専決処分により行ったことについて、議会の承認を求めるもの。

問 **今般の専決処分は、災害復旧のため、一刻の猶予もなく、即座に補正予算を編成したものと理解しているが、監視カメラの設置工事については、そこまでの緊急性があったのか。9月補正予算で計上し、議会で議論した上で予算付けするのが妥当ではないかと考えるが、当局の見解を伺う。**

答 今回の豪雨災害により、市が管理する和田川の水門で浸水被害が発生したことについて、水門の操作に課題があったと認識しており、今後も、台風などによる大雨が再来する可能性があることから、迅速に対応する必要がある。監視カメラは、適時的確に情報を把握するために必要であることから、専決処分したものである。

民生病院常任委員会

議案4件を可決すべきものとしました。
所管事務について14件の報告を受けました。

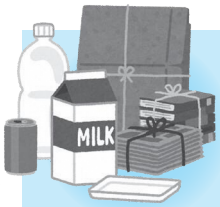
プラスチック資源一括回収の実施及び資源ごみ・燃えないごみ収集回数の見直しについて

令和4年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づき、「プラスチック製容器包装」と「プラスチック使用製品廃棄物」を「プラスチック資源(プラ資源)」として一括回収するもの。

また、今回のプラ資源一括回収の実施に併せ、資源ごみ・燃えないごみの収集回数の市内統一を図るもの。

問 **資源ごみの収集回数は、全体で増えるのか。また、予算は増減するのか。**

答 資源ごみ全体の収集回数は、増える。費用については、プラ資源をリサイクルし、再商品化する費用、不適物を選別する費用等が増額になる。資源ごみステーションによっては、資源回収カゴの追加配布、増設等のため、助成が必要になると考えられる。下地区でのモデル事業で課題を整理し、必要となる費用を算出する。



産業建設常任委員会

議案1件を可決すべきものとしました。
所管事務について6件の報告を受けました。

(仮称)移住・空き家トータルサポート業務の実施に向けたサウンディング型市場調査の実施について

近年、移住希望者への情報発信、空き家の紹介や仕事に関する相談、移住後の定着支援など、移住・空き家に関するサービスをワンストップで提供する窓口を、民間事業者に委託して開設する自治体が増えており、本市においても、こうした窓口の開設を含む(仮称)移住・空き家トータルサポート業務を実施し、移住希望者等の利便性を向上させ、移住・空き家利活用のより一層の促進につなげるもの。

問 **市内の案内について、どのような業務を想定しているのか。**

答 首都圏等の方々で、射水市に興味を持たれた方に市内を案内するアテンドや、ツアー形式で案内する移住体験ツアー等に、民間事業者のアイデアを取り入れ、さらに活性化させていきたい。

第5次射水市行財政改革大綱について

令和5年度を初年度とする第3次射水市総合計画がスタートしたことに併せ、現行の大綱の推進期間を1年前倒しして、第5次射水市行財政改革大綱を策定したもの。

問 **総合計画前期実施計画期間中の財政見通しでは、令和6年度から令和9年度にかけて、毎年度、約7.2億円から約9.7億円の歳入不足額が生じるものと推計しており、公共施設建設等基金などからの繰入金により収支の均衡を図ることとされている。これからの歳入不足に際しての財政調整基金の活用について、当局の基本的考え方を伺う。**

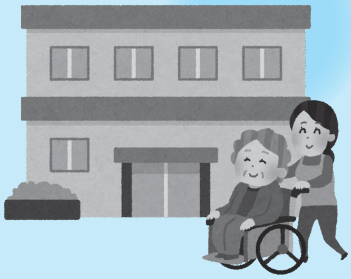
答 財政調整基金については、災害時における突発的な財政需要や、経済情勢の著しい変動による大幅な減収に対応するための、言わば将来の備えとして積み立てており、その活用は慎重に判断すべきと考えている。一方、合併地域振興基金や公共施設建設等基金については、実施計画を進める上での財源として必要であれば、基金の設置目的に照らして、取り崩していくことを考えている。

大門・大島地域包括支援センターの分割及び大島地域包括支援センターの新設について

現在、大門地区と大島地区は1つの圏域として大門・大島地域包括支援センターを設置し、社会福祉法人大門福祉会に運営を委託している。今後の高齢者人口の増加に対応するため、大門地区と大島地区に分割し、大島地域包括支援センターを新設するもの。

問 **それぞれの地域包括支援センターの人員を問う。**

答 現在、大門・大島圏域全体の高齢者人口は5千人を超えているため、基準により、体制強化職員1名を配置し、6名体制となっている。大門地区と大島地区に分割した場合、大門地区の高齢者人口は5千人未満となり5名体制に、大島地区は概ね3千人未満となり4名体制となる。これまで6名体制だったものが、計9名の体制となる。



作道第1排水区雨水対策施設整備事業の工事請負契約について

作道第1排水区(作道(新生町)地区)は、大雨により低地部において床下浸水や道路冠水の浸水被害がたびたび発生していることから、雨水対策として、既設排水路の水位を低下させるため、雨水を一時的に貯留する雨水調整池を3か所整備する。第1貯留池については、平成23年に整備が完了しており、今回は2施設目となる第3調整池(地下式)を整備し、浸水被害の軽減を図るもの。

問 **3か所の整備計画順序について伺う。**

答 一般県道姫野能町線の工事が予定されており、まずその南北に1か所ずつ整備することとした。3か所目については、今後、水の流れや水路の形態も変わってくることも考えられることから、整備時に再度検討したい。

予算特別委員会

令和5年度 射水市一般会計補正予算（第4号）（議案第44号）

歳入歳出にそれぞれ12億4955万4千円を追加し、総額を407億8855万4千円とするもの

主な事業

○エネルギー価格・物価高騰対策支援事業
・指定管理者支援
・介護サービス等提供支援
○いみず住まい等応援事業補助金
○インフルエンザ予防接種費用助成事業
○ふるさと納税返礼品発送等業務委託
○新湊総合体育館トイレ洋式化工事

質問者及び質問項目

9月12日（説明）

日程	質問者	主な質問項目
9月21日	杉浦　実 委員	①市制20周年記念事業について
	西尾　哲 委員	①いみずヘルスアップ＋について　②射水まるごとデジタル応援券について　③オリバースポーツフィールド射水について　④いみず住まい等応援事業補助金について
	加治　宏規 委員	①スポーツ施設維持管理費（新湊総合体育館トイレ洋式化工事）について　②スポーツ振興について　③市内保育園について　④自治会、地域振興会について
	大垣　友和 委員	①道の駅周辺エリア基本構想について　②中小企業支援策「ゼロゼロ融資」について　③ロシアへの制裁強化に伴う輸出規制による本市への影響について
	高畑　吉成 委員	①地域からの要望の傾向と進捗について　②高齢者の猛暑対策について
	根木　武良 委員	①「大門二口幸町」道路側溝改修の進捗状況について　②パークアンドライド駐車場について　③歩道と縁石の除草について　④市内主要体育館６館の集約について
	中村　文隆 委員	①人口減対策としての少子化対策の捉え方について　②マイナンバーカード取得率と今後のDX推進について
	不後　昇 委員	①帯状疱疹予防接種の助成について　②認知症高齢者等個人賠償責任保険事業について　③不登校対策について　④チャットボットの活用について
	西元　勇司 委員	①企業団地の環境整備について　②越中大門駅の開業100周年について
9月22日	中川　一夫 委員	①９月補正予算について　②市政全般について　③その他
	石田　勝志 委員	①介護保険認定にかかる日数について　②高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画について
	高橋　久和 委員	①出資金返還金について　②多面的機能支払交付金及び専決処分された補正予算について　③元金について

議会改革特別委員会

議員のなり手不足対策として、**議員の厚生年金への加入**（※）についての意見書及び**議員の請負規制緩和**（※）に係る対応について、協議しました。

また、議員定数や議員報酬等についても、今後の検討項目に加え、検討スケジュールを設定することを確認しました。

※議員の厚生年金への加入

現行の厚生年金制度では、議員が被保険者となることができないため、会社員等を辞めて議員になった場合、厚生年金加入を継続できなくなります。議員及びその家族の老後の生活の不安をやわらげ、多様な人材が立候補しやすい環境の整備を図る観点から、全国的に法整備を求める議論がなされています。

※議員の請負規制緩和

これまで、議員個人による当該地方公共団体に対する請負が全面的に禁止されていましたが、法改正により、令和5年3月から各会計年度において支払を受ける議員の対価の総額が300万円を超えない者を、議員個人による請負に関する規制の対象から除くこととされました。

9月定例会

《会 期》9月4日～25日／22日間

議決結果一覧表

[議　案]

番号	件名	結果
第44号	令和５年度射水市一般会計補正予算(第４号)	可決
第45号	令和５年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	可決
第46号	令和５年度射水市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）	可決
第47号	令和５年度射水市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	可決
第48号	令和５年度射水市下水道事業会計補正予算（第１号）	可決
第49号	令和５年度射水市病院事業会計補正予算(第１号)	可決
第50号	射水市市税条例及び射水市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	可決
第51号	射水市火災予防条例の一部改正について	可決
第52号	令和４年度射水市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継続審査
第53号	令和４年度射水市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継続審査

[報　告]

番号	件名	結果
第11号	専決処分の承認を求めることについて	承認
第12号	専決処分の報告について	－
第13号	令和４年度射水市健全化判断比率の報告について	－
第14号	令和４年度射水市資金不足比率の報告について	－

[認　定]

番号	件名	結果
第１号	令和４年度射水市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査
第２号	令和４年度射水市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
第３号	令和４年度射水市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
第４号	令和４年度射水市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
第５号	令和４年度射水市水道事業会計決算認定について	継続審査
第６号	令和４年度射水市下水道事業会計決算認定について	継続審査
第７号	令和４年度射水市病院事業会計決算認定について	継続審査

[諮　問]

番号	件名	結果
第４号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申
第５号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨答申

[議員提出議案]

番号	件名	結果
第２号	射水市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例及び射水市議会委員会条例の一部改正について	可決
第３号	射水市議会会議規則の一部改正について	可決

[その他]

番号	件名	結果
	議会運営委員会、決算特別委員会、議会改革特別委員会及び各常任委員会の閉会中の継続審査	可決

※９月定例会は、全ての議案等が全会一致で可決（承認）されたため、議員別賛否一覧の掲載はありません。

POINT 市議会だより用語解説

代表質問・一般質問における用語を解説しています。

サウンディング型市場調査

▶P2

主に公共施設や市有地等の有効活用を検討するに当たって、民間事業者から広く意見や提案を求め、「対話」を通じて新たな活用方法のアイデア等を把握する市場調査の一手法

AIオンデマンドバス

▶P4

時刻表や決まった運行ルートがなく、AI（人工知能）が予約に応じて、運行ルートを考えながら走る乗り合い型の交通サービスのこと。

緊急放流

▶P4・6

ダムが満水に近づいたときに、ダムからの放流量をダムへの流入量と同程度となるよう近づけていき（ゲートを有するダムの場合のみ）、満水になったら流入量をそのまま下流側に通過させること。

校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）

▶P5

自分のクラスに入りづらい児童・生徒が、落ち着いた空間の中で、自分に合ったペースで学習・生活できる居場所を学校内に設置するもの。

コンテナホテル・レスキューホテル

▶P7

コンテナ1台を1客室としたホテルのことで、平時は観光やビジネスに利用され、災害など有事の際には客室ごと被災地へ速やかに移動させ、仮設宿泊施設などに活用することができるもの。

いみず市議会だよりの表紙写真を募集します！

射水市議会では、市民の皆さんに親しまれる市議会だよりづくりの一環として、表紙写真を募集します。

【募集テーマ】 射水市の風景、行事・イベント、人物など

【応募規定】
- 応募者本人が射水市内において概ね１年以内に撮影したもの
- デジタルデータJPEG形式（概ね４MB以上10MB未満）の横長写真で提供できるもの
- 未発表のもの、また、被写体が人物や個人の所有物の場合は承諾を得たもの

【応募資格】 射水市に在住、在勤または在学の方

【応募期間】 令和５年12月25日（月）まで（※必着）

【選考方法】 市議会広報委員会で応募写真を審査します。

【掲　　載】 市議会広報委員会で選出された写真を表紙に採用します。採用された写真には、応募者の氏名、写真のタイトル及び撮影場所を掲載します。（氏名の掲載を希望しないことも可）
なお、使用に当たっては、トリミングなどの画像処理をすることがあります。

【そ の 他】 応募方法などの詳細については、市議会ホームページでご確認ください。

●広報委員会 ［委員長］中村 文隆　［副委員長］高畑 吉成
［委　員］加治 宏規、山崎 晋次、津田 信人、堀 義治、奈田 安弘、高橋 久和

12月定例会は、12月４日（月）から始まります

会期日程は、決まり次第ホームページに掲載します。

詳しくは、議事調査課（TEL 51-6610）までお問い合わせください。

９月定例会傍聴者数

本会議 …26人
委員会 …20人
合計46人

皆さんの傍聴をお待ちしています。ご希望の方は、議会開催日に本庁舎５階議会事務局までお越しください。